

桑原直己教授 略歴

- 一九五四年九月一二日 茨城県に生まれる
- 一九七三年三月 私立栄光学園高等学校 卒業
- 一九七七年三月 東京大学文学部哲学科 卒業
- 一九七九年三月 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程 修了
- 一九八二年三月 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程 単位取得退学
- 一九八二年四月 駒沢大学文学部 非常勤講師（哲学・論理学）（～一九八五年三月）
- 一九八五年四月 三重大学教育学部 哲学・倫理学教室 講師
- 一九八六年四月 三重大学教育学部 哲学・倫理学教室 助教授
- 一九九九年四月 筑波大学哲学思想学系 助教授
- 二〇〇八年三月 筑波大学大学院人文社会科学研究所哲学・思想専攻 教授
- 二〇一三年四月 筑波大学大学院人文社会科学研究所哲学・思想専攻長（～二〇一七年三月）
- 二〇二〇年三月 筑波大学定年退職

研究業績

I 著書

- 『哲学理論の歴史』 公論社、共著（第I編「古代」の部）、一九八五年一〇月
- 『西洋哲学の展開』 公論社、共著（第I編「古代」の部）、一九九三年九月

- 『魂の探究―東西の（魂）をたずねて』 三重学術出版会、共著（Ⅲ―1章「古代・中世の靈魂観から―アリストテレスからトマス・アクイナスへ―）、一九九五年四月
- 『自然法と宗教 I』 創文社、共著（「トマス・アクイナスにおける倫理的責務と法的責務」）、一九九八年一月
- 『トマス・アクイナスの倫理思想』 創文社、共著（「トマス・アクイナスのカリタス論―友愛としてのカリタス―」）、一九九九年二月
- 『情の探究』 三重学術出版会、共著（Ⅱ―4章『憐れみ misericordia』の思想史）、二〇〇二年三月
- 『哲学―看護と人間に向かう哲学』 ヌーヴェルヒロカワ、共著（第7章「ケアの倫理と医療・看護」）、二〇〇三年二月
- 『トマス・アクイナスにおける「愛」と「正義」』 知泉書館、単著、二〇〇五年二月
- 非主我的愛の成立基盤としての修道院靈性に関する研究 平成一五〜一七年度科学研究費補助金（基盤研究（C） 研究課題番号 15520004）研究成果報告書、二〇〇六年三月
- 『有限と無限』 三重大学出版会、共著（Ⅱ―1. 4「有限者としての救いと無限性への参与―ペラギウス論争と東西キリスト教のパラダイム―」）、二〇〇六年三月
- 『哲学を享受する』 知泉書館、共著（1「トマス・アクイナス」）、二〇〇六年四月
- 『東西修道靈性の歴史―愛に捉えられた人々―』 知泉書館、単著、二〇〇八年六月
- 『自然の探究』 三重大学出版会、共著（Ⅱ―1. 3「トマス・アクイナスと「自然本性」―倫理学を中心に―」）、二〇〇九年三月
- 『教会と学校での宗教教育再考―（新しい教え）を求めて―』 オリエンズ宗教研究所、共著（第12章「宗教色なき宗教教育の可能性」） 二〇〇九年一月
- 『キリスト教と日本の深層』 オリエンズ宗教研究所、共編著（第4章「A・ヴァリニャーノの適応主義と『日本のカテキズモ』」）、二〇一二年三月
- 『イスラーム哲学とキリスト教中世Ⅱ 実践哲学』 岩波書店、共著（第Ⅰ―2章「トマス・アクイナスの倫理学」）、二〇一二年三月

〇一二年三月

『因果の探究』 三重大学出版会、共著（Ⅱ―1. 4 「自由の因果性と不滅の知性的靈魂―キリシタン時代におけるイエズス会宣教師と日本仏教との出会い―」）、二〇一三年三月

『中世における信仰と知』 知泉書館、共著（「クレルヴオーのベルナルドゥスにおける愛の靈性」）、二〇一三年四月

『西洋哲学の起源』 放送大学教育振興会、共著（第9章〜第15章）、二〇一六年三月

『善美なる神への愛の諸相―『フィロカリア』論考集―』、共著（第四章「隠修士と共同体」）、二〇一六年一〇月

『キリシタン時代とイエズス会教育―アレックスサンドロ・ヴァリニャーノの旅路―』 知泉書館、単著、二〇一七年四月

『愛の探究』 三重大学出版会、共著（Ⅱ―1―2 「アガペー・エロース・フィリア」）、二〇一七年三月

『生きる意味』 オリエンズ宗教研究所、共編著（第十章「V・フランクルのロゴセラピー―人生の意味についての基礎理論―」）、二〇一七年七月

Ⅱ 学術論文

「プラトン『ゴルギアス』篇について―愛智者の姿―」、修士学位論文、一九七九年三月

『「国家」篇第1巻における「利益」の概念について』、『哲学雑誌』第九六巻第七五八号、一九八一年一〇月

「プラトンと魂―ヒさとリグとヒまよいグ―」、『関東学院大学文学部紀要』第三九号、一九八四年一月

「トマス・アクイナスの徳論について」、三重大学人文学部哲学・思想学系教育学部哲学・倫理学研究室『論集』第四号、一九八六年三月

「プラトンにおける正義論成立の地平」、『三重大学教育学部研究紀要』第三七巻、一九八六年三月

『「ニコマコス倫理学」における「中庸の説」について』、『三重大学教育学部研究紀要』第三八巻、一九八七年三月

「義理の構造的理解に関する試論」、三重大学人文学部哲学・思想学系教育学部哲学・倫理学研究室『論集』第五号、一九八八年三月

「実存分析と死の宗教的意味」、三重大学生命倫理研究会編『生命倫理の哲学的探求』昭和六二年度庭野平和財団研究助成

研究成果報告書、一九八八年一二月

「トマス・アクイナスの信仰論における諸問題」、『三重大学教育学部研究紀要』第四〇巻、一九八九年二月

「トマス・アクイナス『神学大全』における「原義」と「原罪」」、『三重大学教育学部研究紀要』第四一巻、一九九〇年三月

「甘え」を分析する」、『英知大学キリスト教文化研究所紀要』第五巻第一号、一九九〇年二月

『ニコマコス倫理学』における「オルトス・ロゴス」の戦略」、三重大学人文学部哲学・思想学系教育学部哲学・倫理学研究室『論集』第六号、一九九〇年三月

『神学大全』における「ハビトゥスの賜物としての恩寵」の意味について、中世哲学会編『中世思想研究』第三二巻、一九九〇年九月

「生命の階層構造―アリストテレスの靈魂論―」、三重大学人文学部哲学・思想学系教育学部哲学・倫理学研究室『論集』第七号、一九九二年三月

『神学大全』における天使の知性的本性について、『三重大学教育学部研究紀要』第四六巻、一九九五年三月

「根本悪」と「原罪」」、『三重大学教育学部研究紀要』第四七巻、一九九六年三月

「トマス・アクイナスにおける「能動知性」と「個としての人間」」、日本哲学会編『哲学』第四七号、一九九六年四月

「知性的存在者における悪―トマス・アクイナスと天使の罪―」、中世哲学会編『中世思想研究』第三八巻、一九九六年九月

「徳としての正義―トマス・アクイナスの正義論成立の場―」、『三重大学教育学部研究紀要』第四八巻、一九九七年三月

「アイデンティティの意味探究―義務論倫理学における道徳主体とアリストテレスのコイノーニア理論―」、三重大学人文学部哲学・思想学系教育学部哲学・倫理学研究室『論集』第八号、一九九七年二月

「正義の倫理」と「ケアの倫理」―C・ギリガン『もうひとつの声』の倫理学的意味―、日本カトリック教育学会編『カトリック教育研究』第一四号、一九九七年八月

「トマス・アクイナスにおける神愛論の構造」、『三重大学教育学部研究紀要』第四九巻、一九九八年三月

- 「アウグステイヌスの徳倫理とトマス・アクイナス」、『三重大学教育学部研究紀要』第五〇巻、一九九九年三月
- 「神において」愛するということ—アウグステイヌスにおける「隣人愛」に関する一考察—、三重大学人文学部哲学・思想学系教育学部哲学・倫理学研究室『論集』第九号、一九九九年三月
- 「まことの倫理」と義務論倫理学、日本カトリック教育学会編『カトリック教育研究』第二六号、一九九九年八月
- 「トマス・アクイナスにおける親和的認識について」、筑波大学哲学・思想学系『哲学・思想論集』第二五号、二〇〇〇年三月
- 「アウグステイヌスと千年王国論」、『哲学雑誌』第一一五卷第七八七号、二〇〇〇年一〇月
- 「トマス・アクイナスにおける愛（アモル）」に関する理論の構造、筑波大学哲学・思想学系『哲学・思想論集』第二六号、二〇〇一年三月
- 「トマス・アクイナスの倫理学における恩恵の役割」、『西洋古典文献の伝承史と中世東西地中海世界の修道制をめぐる実証的研究』平成一一〜一二年度科学研究費補助金研究成果報告書、二〇〇一年三月
- 「関係性の倫理と文化理解」、『大学教育学会誌』第二三卷第一号、二〇〇一年五月
- 「トマス・アクイナスにおける正義について—内的秩序と対他性—」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第一八号、二〇〇一年二月
- 「自然本性の自己超越—トマス・アクイナスにおける人間観の骨格—」、筑波大学哲学・思想学系『哲学・思想論集』第二八号、二〇〇三年三月
- 「トマス・アクイナスにおける愛の倫理と正義の倫理」、東京大学博士（文学）学位論文、二〇〇三年一二月
- 「トマス・アクイナスにおける「兄弟的矯正 correctio fraterna」について」、筑波大学哲学・思想学系『哲学・思想論集』第二九号、二〇〇四年三月
- 「トマス・アクイナスにおける「説教 praedicatorio」の意味について」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第二〇号、二〇〇四年三月
- 「ニケタス・ステタトスの靈性観について」、東方キリスト教学会編『エイコーン』第三〇号、二〇〇四年一二月

『神学大全』における「神の像」について」、筑波大学哲学・思想学系『哲学・思想論集』第三〇号、二〇〇五年三月

「東方キリスト教学会第一回シンポジウム『エイコーン』をめぐって 司会者コメント」、東方キリスト教学会編『エイコーン』第三二号、二〇〇五年

「ペラギウス論争と東西キリスト教の神学的パラダイム」、三重大学人文学部哲学・思想学系、教育学部哲学・倫理学研究室『論集』第一二二号、二〇〇六年三月

「初期修道制における「独住」と「共住」の問題について」、筑波大学哲学・思想学系『哲学・思想論集』第三二号、二〇〇六年三月

Nikitas Stithatos on Stages of Progress in the Spiritual Life: From the Viewpoint of a Japanese Translator, In *Prayer and Spirituality in the Early Church: vol.4, The Spiritual Life*. Edited by Wendy Mayer, Pauline Allen and Lawrence Cross c Centre for Early Christian Studies 2006. First published in Australia in 2006 by St Pauls Publications

「トマス・アケイナスと東西キリスト教のパラダイム」、東方キリスト教学会編『エイコーン』第三四号、二〇〇六年二月

「使徒的生活」を求めてー11・12世紀の隱修士運動」、筑波大学哲学・思想学系『哲学・思想論集』第三二号、二〇〇七年三月

「トマス・アケイナスにおける「修道生活」と「神愛の完全性」」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第二三三号、二〇〇七年三月

「トマス・アケイナスと『ニコマコス倫理学』——徳倫理の継承およびその変容——」、ギリシャ哲学セミナー編『ギリシヤ哲学セミナー論集』Vol. IV、二〇〇七年三月

「托鉢修道会の時代」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第二四号、二〇〇八年三月

「トマス・アケイナスにおけるカリタス理論のキリスト教的意味について」、筑波大学哲学・思想学系『哲学・思想論集』第三三三号、二〇〇八年三月

- 「西方修道制における二つの伝統」、『清泉女子大学キリスト教文化研究所年報』第一六号、二〇〇八年三月
- 「日本におけるカトリック学校の現状と課題」、『清泉女子大学人文科学研究所紀要』第二九号、二〇〇八年三月
- 『カトリック教育研究』創刊二五周年特別企画「日本における「戦後カトリック教育の歩み」総括」、日本カトリック教育学会編『カトリック教育研究』第二五号、二〇〇八年八月
- 「隠修士と共住修道院―その東方的起源と西方的展開について―」、東方キリスト教学会編『エイコーン』第三八号、二〇〇八年二月
- 『イエズス会学事規程』におけるイエズス会学校、『清泉女子大学キリスト教文化研究所年報』第一七号、二〇〇九年三月
- 「近代修道制の展開と世俗的国家」、『清泉女子大学人文科学研究所紀要』第三〇号、二〇〇九年三月
- 「キリシタン時代における日本のイエズス会学校教育」、筑波大学哲学・思想学系『哲学・思想論集』第三四号、二〇〇九年三月
- 「近代修道制と女子教育―聖心会学校を中心に」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第二五号、二〇〇九年三月
- 「道徳教育（あるいは「心の教育」）についての倫理学的検討」、日本倫理学会第五九回大会主題別討議報告、日本倫理学会編『倫理学年報』第五八号、二〇〇九年三月
- 「修道靈性史におけるイエズス会の特徴と『靈操』」、日本カトリック神学会編『カトリック神学会誌』第二〇号、二〇〇九年八月
- 「トマス・アクイナスにおける「性向としての徳」概念―自己否定を超えた自己肯定の基盤―」、『理想』第六八三号、二〇〇九年九月
- 「修道制における隠修士の意義―その東方的起源と西方的展開―」、教父研究会編『パトリスティカ』第一三三号、二〇〇九年一二月
- 「園」「倉」「部屋」―クレルヴォーのベルナルドゥス『雅歌説教23』における靈的体験論、『清泉女子大学キリスト教文化研究所年報』第一七号、二〇一〇年三月

「ナショナルリズムを相対化するためのモデルとしての西洋中世」、『清泉女子大学人文科学研究紀要』第三二号、二〇一〇年三月

「クレルヴォーのベルナルドゥスにおける「息子」と「花嫁」——神を愛することについて」と『雅歌説教——』、筑波大学哲学・思想学系『哲学・思想論集』第三五号、二〇一〇年三月

「御言葉キリストと魂との「結婚」——クレルヴォーのベルナルドゥス『雅歌説教 83〜85——』、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第二六号、二〇一〇年三月

「A・ヴァリニャーノの旅路——日本における布教方針を支えた「識別」——」、『日本カトリック神学院紀要』創刊号、二〇一〇年三月

「Conventia Incarnations——トマス・アクイナス『神学大全』第三部第1問題——」、『清泉女子大学キリスト教文化研究年報』第一九卷、二〇一一年三月

「『神学大全』第三部研究序説——キリスト論の問題を中心に——」、筑波大学哲学・思想専攻『哲学・思想論集』第三六号、二〇一一年三月

「Unio in Persona——トマス・アクイナス『神学大全』第三部第2問題——」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第二七号、二〇一一年三月

「アウグステイヌス『キリスト教の教え』における自由学芸——キリスト教的人文主義の源泉——」、『清泉女子大学人文科学研究紀要』第三二号、二〇一一年三月

「A・ヴァリニャーノ『日本のカテキズモ』における日本仏教論」、『日本カトリック神学院紀要』第二号、二〇一一年三月

「カトルトーマタとしての *connexio virtutum per prudentiam*——トマス・アクイナスにおける徳の結合理論の二重性——」、中世哲学会編『中世思想研究』第五三卷、二〇一一年一〇月

「三位一体」における「信仰」と「複数性」の問題——トマス・アクイナス『ボエティウス「三位一体論」註解』に寄せて——」、『清泉女子大学キリスト教文化研究年報』第二〇巻、二〇一二年三月

- 「トマス・アクイナス『ボエティウス「三位一体論」註解』の意義」、筑波大学哲学・思想専攻『哲学・思想論集』第三七号、二〇一二年三月
- 「トマス・アクイナス『ボエティウス「三位一体論」註解』における学問方法論」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第二八号、二〇一二年三月
- 「トマス・アクイナス『ボエティウス「三位一体論」註解』における学問区分」、『清泉女子大学人文科学研究会紀要』第三三三号、二〇一二年三月
- 「トマス・アクイナス『神学大全』における「美」、『日本カトリック神学院紀要』第三号、二〇一三年三月
- 「キリスト論における「上からのパラダイム」と「下からのパラダイム」―トマス・アクイナスと現代―」、日本カトリック神学会編『カトリック神学会誌』第二三三号、二〇一二年八月
- 「バシレイオスと異教的教養―『若者たちへ』を中心に―」、東方キリスト教学会編『エイコーン』第三八号、二〇一三年三月
- 「靈性史の背景としてのベギン」、『清泉女子大学キリスト教文化研究所年報』第二二卷、二〇一三年三月
- 「エックハルトの「神秘主義」と説教・靈的指導の言語」、筑波大学哲学・思想専攻『哲学・思想論集』第三八号、二〇一三年三月
- 「G・フロロテとその後継者たち―*devotio moderna*の靈性史―」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第二九号、二〇一三年三月
- 「トマス・アクイナスの学問論における哲学的神学と啓示神学」、『清泉女子大学人文科学研究会紀要』第三四号、二〇一三年三月
- 「フィリピンのカトリック・ハイスクールにおける宗教教育」、『日本カトリック神学院紀要』第四号、二〇一三年六月
- 「アンセルムスと二つの神学世界」、筑波大学哲学・思想専攻『哲学・思想論集』第三九号、二〇一四年三月
- 「トマス・アクイナスにおける信仰」、日本カトリック神学会編『カトリック神学会誌』第二五号、二〇一四年八月
- 「存在の一義性とスコトウスの形而上学革命」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第三〇号、二〇一四年三月

- 「苦難の僕と『詩編』22編」、筑波大学哲学・思想専攻『哲学・思想論集』第四〇号、二〇一五年三月
- Jesuits' Encounter with Japanese Buddhism in 16th Century—In the Case of "NIHON NO KATEKIZUMO (The Catechism in Japan)"—、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第三一号、二〇一五年三月
- 「中世の知的世界を支える社会的現実」、日本倫理学会共通課題報告、日本倫理学会編『倫理学年報』第六四集、二〇一五年三月
- 「托鉢修道会、ベギン、「新しい敬虔 devotio moderna」——社会進出型奉獻生活への道——」、『日本カトリック神学院紀要』第六号、二〇一五年八月
- 「東ティモールにおけるカトリック人文主義教育の挑戦—聖イグナチオ・デ・ロヨラ学院 Colegio de Santo Inacio de Loidia を中心に—」、筑波大学哲学・思想専攻『哲学・思想論集』第四一号、二〇一六年三月
- 「ペドロ・ゴメスによる『靈魂論』の位置—anima 論の展開とキリシタン時代における日本布教の文脈の中で—」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第三二号、二〇一六年三月
- 「遠きにある友なる国コンゴ」、『日本カトリック神学院紀要』第七号、二〇一六年七月
- 「霊操と隠修士」、日本カトリック神学会編『カトリック神学会誌』第二七号、二〇一六年八月
- 「考える倫理」と「考える道徳」、日本倫理道德教育学会設立準備委員会編『倫理道德教育研究』特別号、二〇一六年一〇月
- 「婚姻神秘主義」と「本質神秘主義」——中世後期から近代初頭にかけての神秘主義の展開」、筑波大学哲学・思想専攻『哲学・思想論集』第四二号、二〇一七年三月
- 「キリスト教と「エリート」教育—イエズス会教育を中心に—」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第三三号、二〇一七年三月
- 「東ティモールにおけるイエズス会教育—聖イグナチオ・デ・ロヨラ学院と聖ジョアン・デ・ブリト—学院—」、『日本カトリック神学院紀要』第八号、二〇一七年十一月
- 「主体的・対話的で深い学び」と「單元」、日本倫理道德教育学会編『倫理道德教育研究』創刊号、二〇一七年一二月

「第二バチカン公会議とイエズス会―社会正義の問題を中心に―」、筑波大学哲学・思想専攻『哲学・思想論集』第四三号、二〇一八年三月

「適応主義の源泉としてのイエズス会修辞学教育」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第三四号、二〇一八年三月

「神の世界内在と恩恵―トマス・アクイナス恩恵論の全体像―」、筑波大学哲学・思想専攻『哲学・思想論集』第四四号、二〇一九年三月

「イエズス会人文主義教育と女子教育修道会―聖心会を中心に―」、筑波大学倫理学研究会編『倫理学』第三五号、二〇一九年三月

「トマス・アクイナスにおける「枢要徳」について」、筑波大学哲学・思想専攻『哲学・思想論集』第四四号、二〇二〇年三月

「「公共の扉」―特別の教科「道徳」と高等学校公民科との接続点」、日本倫理道德教育学会編『倫理道德教育研究』第三号、公開シンポジウム寄稿論文、二〇二〇年三月発行